

I WILL NEVER LET YOU DIE. // RIPPA NA SAIGO TO IWASERU MONOKA // I WILL NEVER LET YOU DIE.

I WILL NEVER LET YOU DIE. RIPPA NA SAIGO TO IWASERU MONOKA // I WILL NEVER LET YOU DIE. RIPPA NA SAIGO TO IWASERU MONOKA

I WILL NEVER LET YOU DIE. RIPPA NA SAIGO TO IWASERU MONOKA // I WILL NEVER LET YOU DIE. RIPPA NA SAIGO TO IWASERU MONOKA

言最 わあ のせ か 期 と 派 な

りっぱなさいごといわせるものか

I will never let you die.

FIRE EMBLEM THREE HOUSES
UNOFFICIAL FAN BOOK

ASHE DURAN × FELIX HUGO FRALDALIUS

ADULT
ONLY

R-18



カ
ッ

立派な
最期と
言わせる
ものか





伝令!

伝令!



総員直ちに
撤退せよ!

交戦中の
前衛部隊壊滅

前線が崩壊した
模様!



分かりました

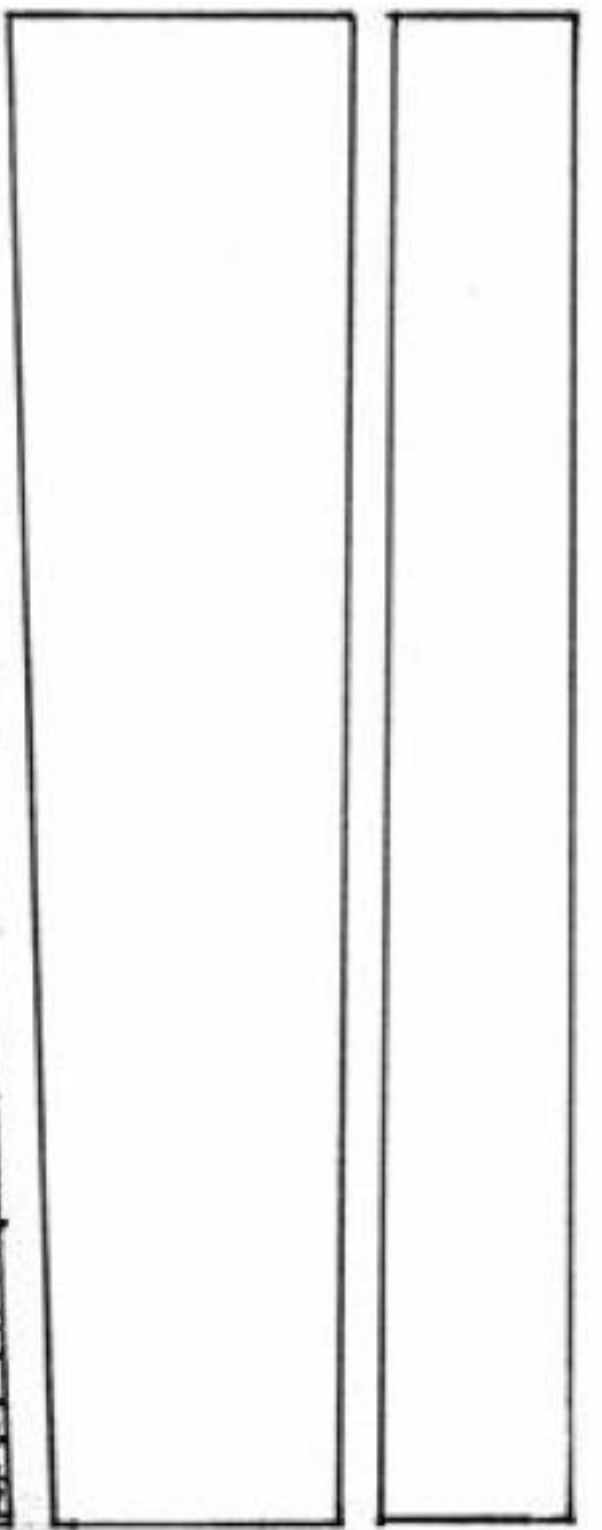
僕は殿下の
護衛に向かいます

皆は直ぐにガルグリマクへ
撤退を始めてください!

殿下は何処に!

は!自ら殿を
務めておいでです

追手の姿も
確認されているとの「リポート」



でも万が一の
ことだって
あり得ない
わけじゃない

この国の未来を
背負うお方だ

ファーガスの騎士ならば
何としてでも



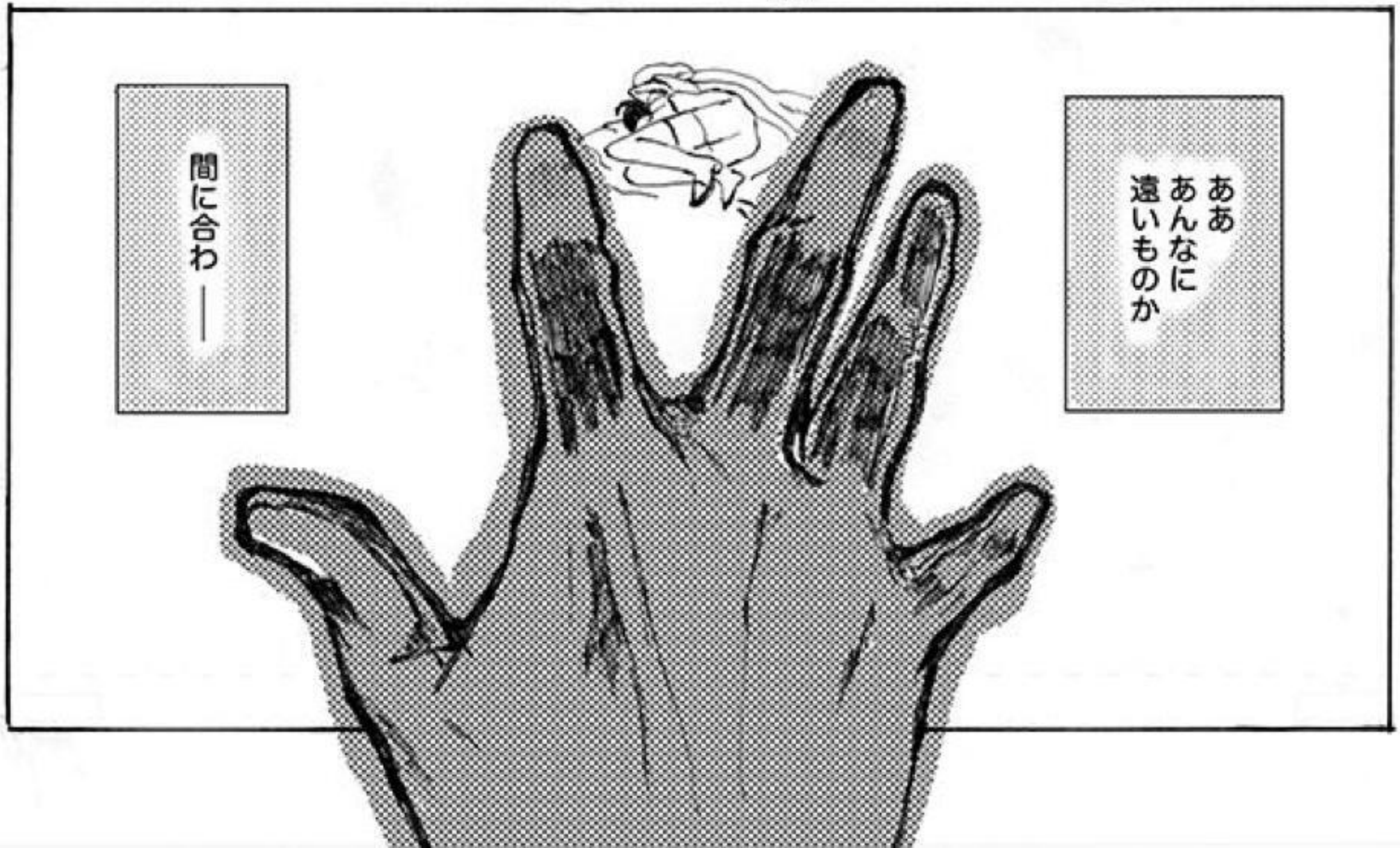
殿下はお強い
僕が行かすとも
きつと切り抜けられる

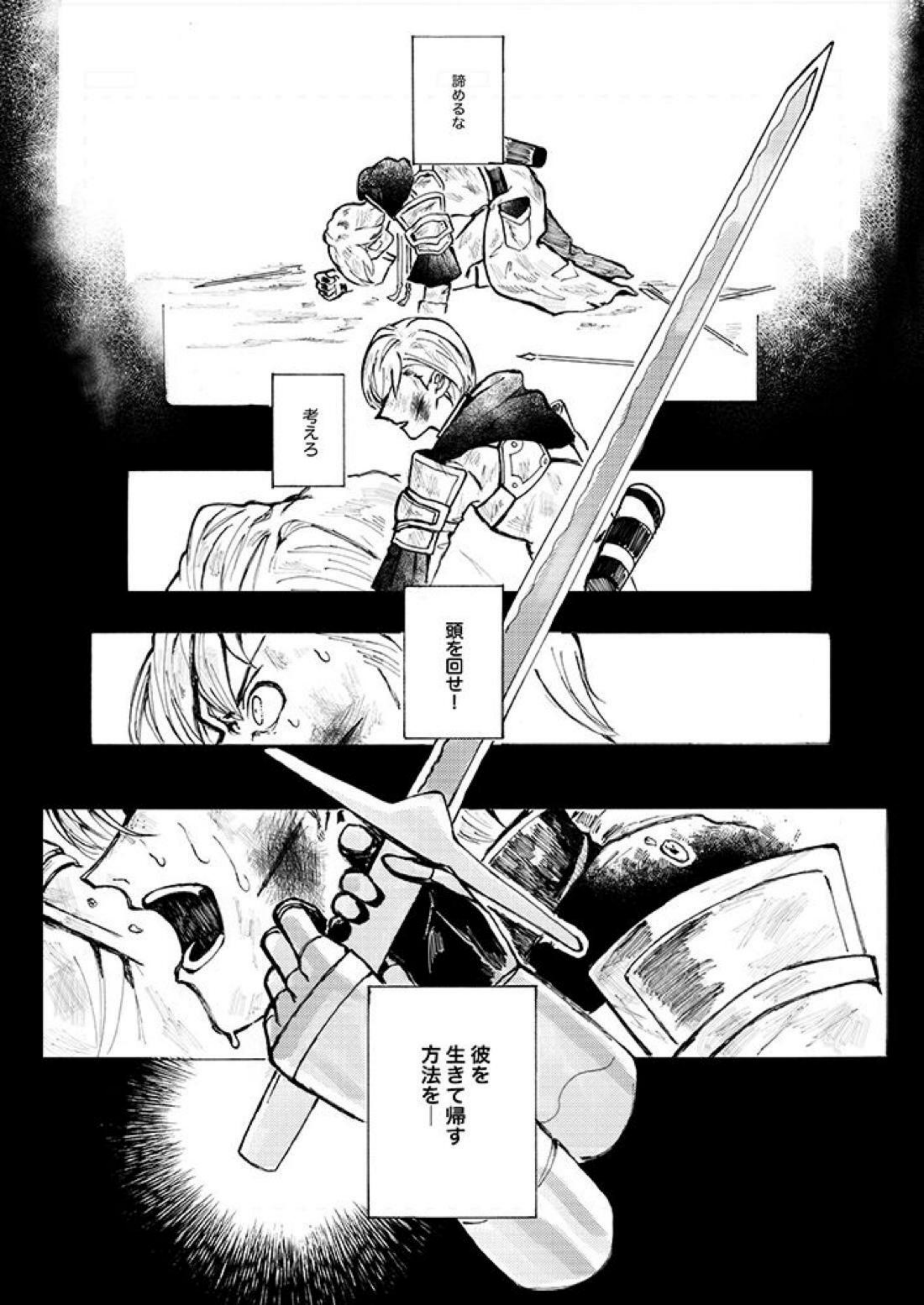
どうかい無事で



え？







諦めるな

考える

頭を回せ!

彼を
生きて帰す
方法を――








良かった
まだ
生きてる…


っフェリクス!

はあ

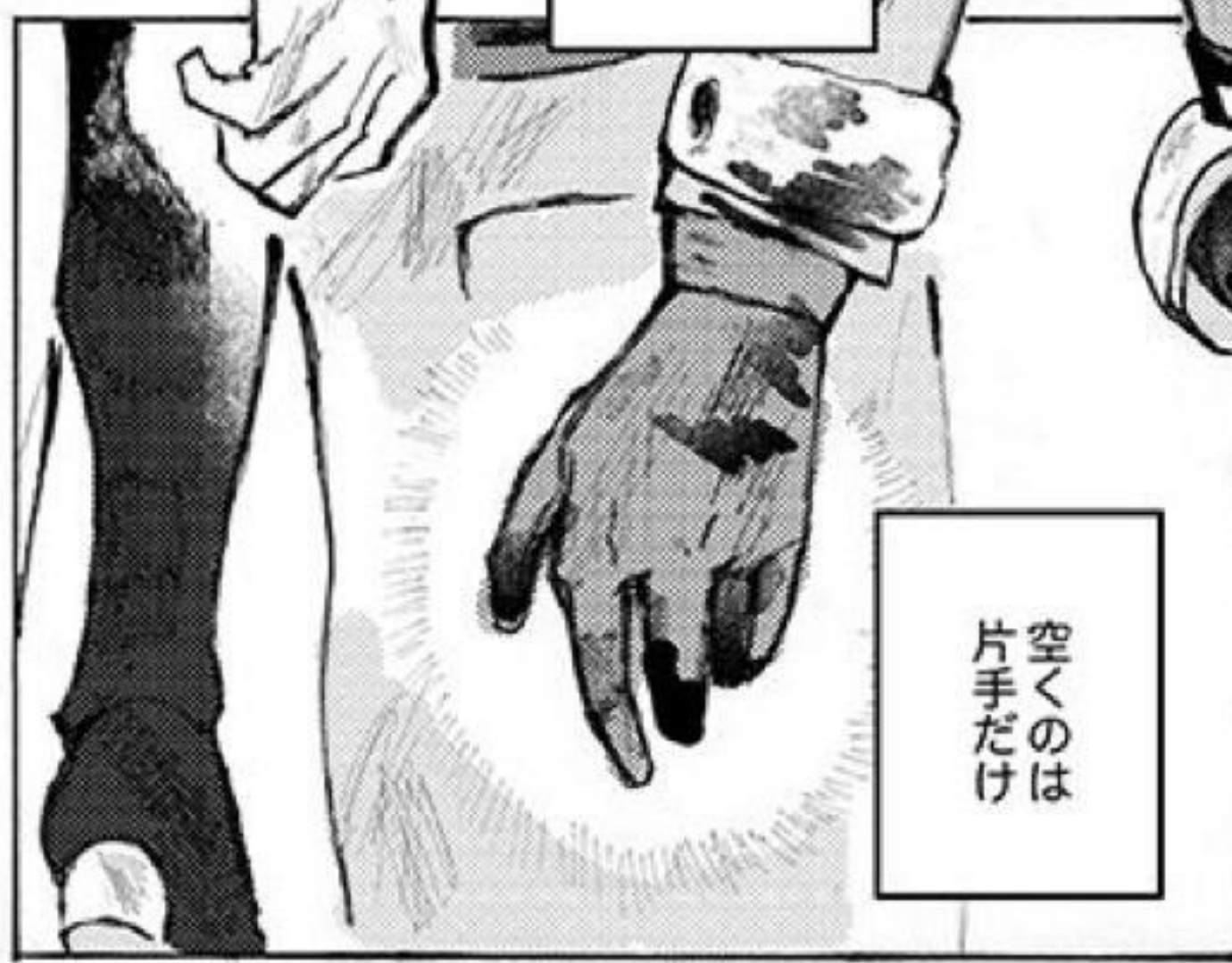
はあ




敵はまだ
周囲に潜んでいる
見つければ
襲ってくる



どうやって
身を守る？
人を担いで
戦闘はできない



空くのは
片手だけ



ならば――

ああ一瞬でも
気を抜けば
持っていかれそうだ

早く 早く
安全な場所に…

はあ

ほ

ほ



此処は…
森の中？



アッ…ッ…ッ…

それでも
女神はまだ俺を
見捨ててはいないと



呼吸はあるな

おい無事か
しっかりし—



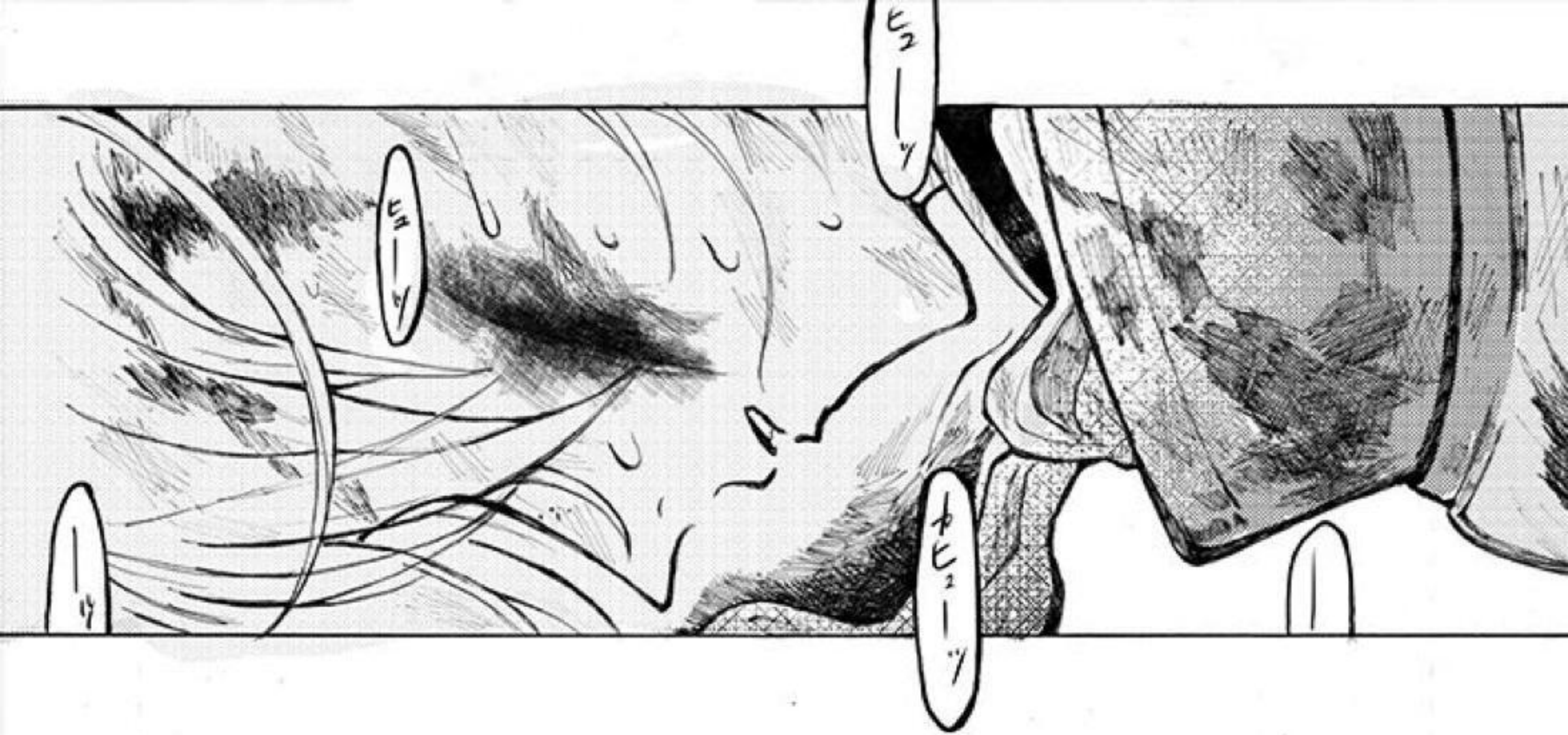
あのとき
頭を打たれて…

クソッ
なんてザマだ…！



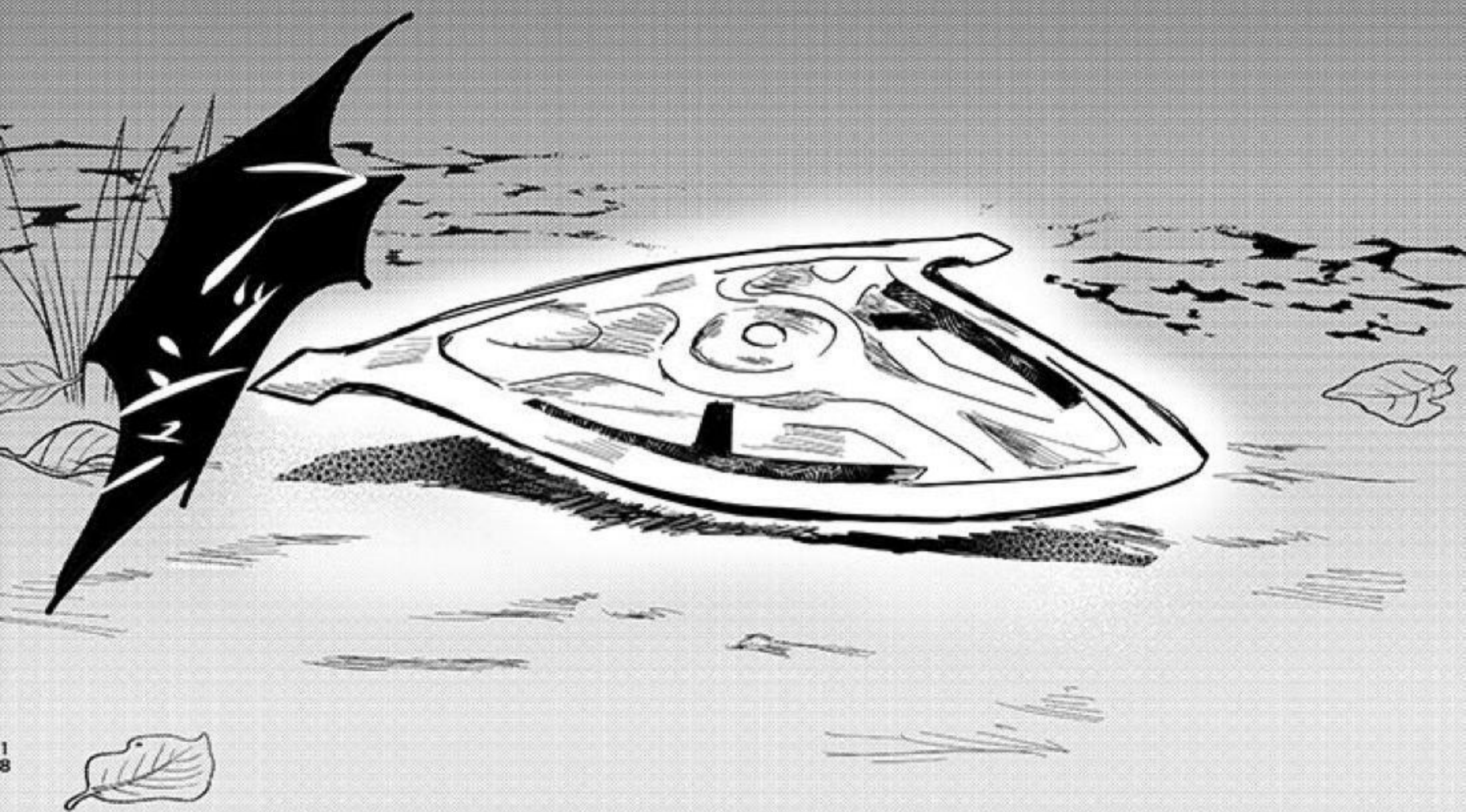
此度も
己は運良く
生き延びられたの
だと――





ああ
愚かしくも一瞬
そう安堵してしまった

弱くて高慢な口を
斬り捨ててやりたい



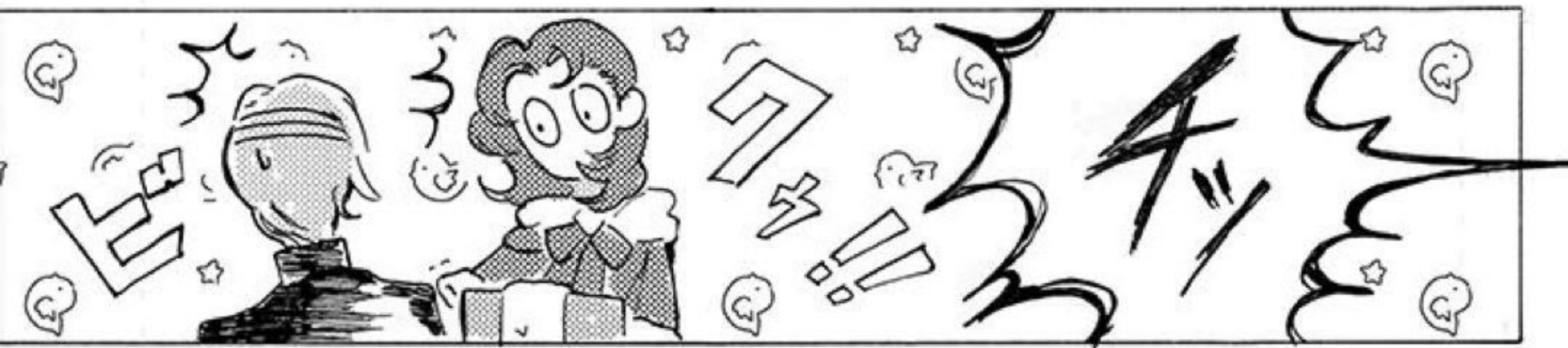




名前

ずっと
呼んでたんだよ?

.....



コイツには
話がある。

.....



ちよっ.....

フェリクス!
居るなら言っつてよ、もう!

フン、
知らない

それよりアネット
しばらく席を外せ

ツカ

ツカ

フッ!





体の具合は
どうだ



今は特に
問題ない...かな？
まだ
起きがけだけ

身体はちゃんと
動いてるし

まだ所々痛むし
声もなんだか擦れてる
気がするけど

えっ、と...？
あ

えっ

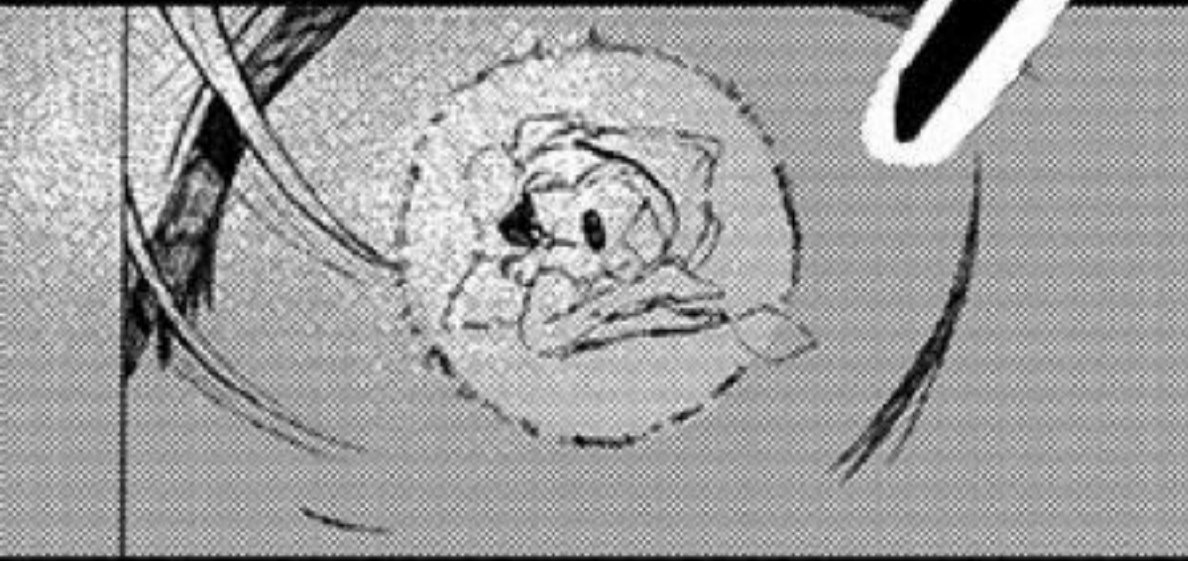


...

そうか









僕のこと
大丈夫だから

それよりも



君が無事で

本当に良かった——





良かった、だど!!

丸一週魔^まされていた
ような奴が抜かせ

紋章無しに
英雄の遺産を
扱えばどうなるか



フェリクス
ツ離ー

お前は分かっているのか!



それしか
君を助ける方法が
無かったです……

……ハッ……

お前はあのとき
戦場で正しい判断を
したと言えるのか?



そう聞いている



何を
分かりきったことを
聞いているんです?



二人とも
何今の音――



あ……
た大変

早く、誰か……

……待ってください
その言い方じゃ
まるで君を

そう言っているように
聞こえるじゃないですか！

助けたことが
間違이었다と

チッ

そうは
聞こえなかったか？
貴様の無謀さには
ほとほと呆れ返る！



き、みは……

さっきから正しいとか
間違いとか勝手なこと
ばかり……！



確かに
僕の行動は
無謀だったかも
しれませんが

でも
あの状況の君を
捨て置いと

君自身が
言うんですか!?

……ああそうだ！

それが最善の
判断だった

分かっているなら
何故そうしない！

はっきり言っていてやる

お前は
俺を

見殺しに



7-4

7-4

7-4

7-4

7-4





取り、消せ 今の言葉



二度と口にするな



僕の前で これ以上——!!

(77)







アッシュはまだ
目を覚ましたばかり
なんだぞー



フェリクス
落ち着けてっ！



くだらん思想に
囚われ
まともに判断すら
出来なくなる
ぐらいならばー



忠義だか
正義だか
知らんが



理想に
熱を上げるのは
程々にしろと
言った筈だ



騎士を志す
資格など

貴様には
無い!!

それ以上は



やめて
フェリクス



はい
そのとおり。

あ...



ああ

ドゥドゥー
アッシュを
寝台へ

戦場で背後を
取られてしまえば
それで終いだ

怒りで完全に
気を取られるのは
良くない、
フェリクス







あゝあゝ
派手に
やられたな
こりゃ



むっかしから
ほんと容赦無い
からな〜アイツ



フェリクスが

えっ俺まで？

申し訳
ありません
でした!!



彼は…到底
許されない
言葉を
あなたに

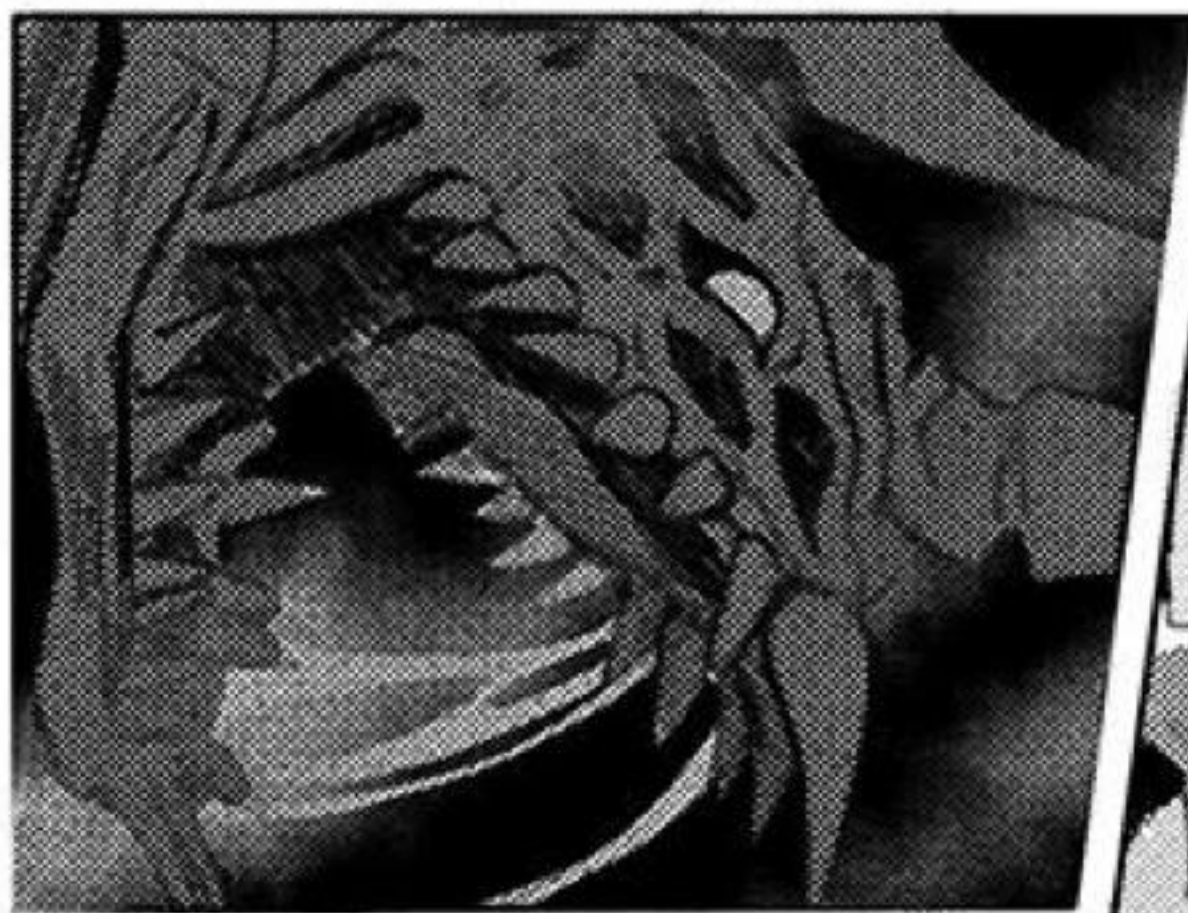


……



あ…

アッシュ…
その…



二人とも
頭を上げて
ください

謝らなければ
いけないのは
僕の方ですから



今までに
だって

紋章があれば
弟たちに
貧しい思いは
させなかったかも
しれない、とか

そう想像した
ことぐらい
何度もあります

なんてことない
無邪気な
憧れのような
ものです

でも



僕は
あのときほど
世界が不平等だと
思ったことは
ありません

紋章があれば
正しく力を
使えた

僕に

紋章さえ
あれば――



彼に

あんなことを
言わせずに
済んだの
でしようか？

俺を
見殺しに
……アッシュ、



フェリクス
のこと

諦めないで
くれて
ありがとう



紋章なんかは
あったって
私たちは
駆けつけられ
なかったわ

あなただって、
分かるでしょう？



違う
僕は...



私は何と嘘えれば
いいのでしょうか...?



勇気ある
貴方を

尊敬すべき
騎士の姿と
言わずして





チッ……



あなた
ここしばらく
眠っていなかった
でしょう？

少しは
冷静になれた？
はい、いえ、まだ……



あら、
ごめんなさい

目覚めちゃうほど
痛かったかしら？





だ...

あー!!



おい

なぜお前が一番辛気臭い顔をしている

ははは

ウー!



あたしには分かんないよ...

アッシュもフェリクスも助け合ったんだから

お互いありがとうって言えば済む話でしょ...

どうしてあそこで喧嘩になっちゃうのかなって...



それにね

言いたいことを言わずにずっとすれ違っていくなら

あれぐらい本気でぶつかり合った方が良いと思うわ



...え?



あらそう...

二人の気持ち

私にはよく分かるわ



ね、そうでしょう、ディミトリ?

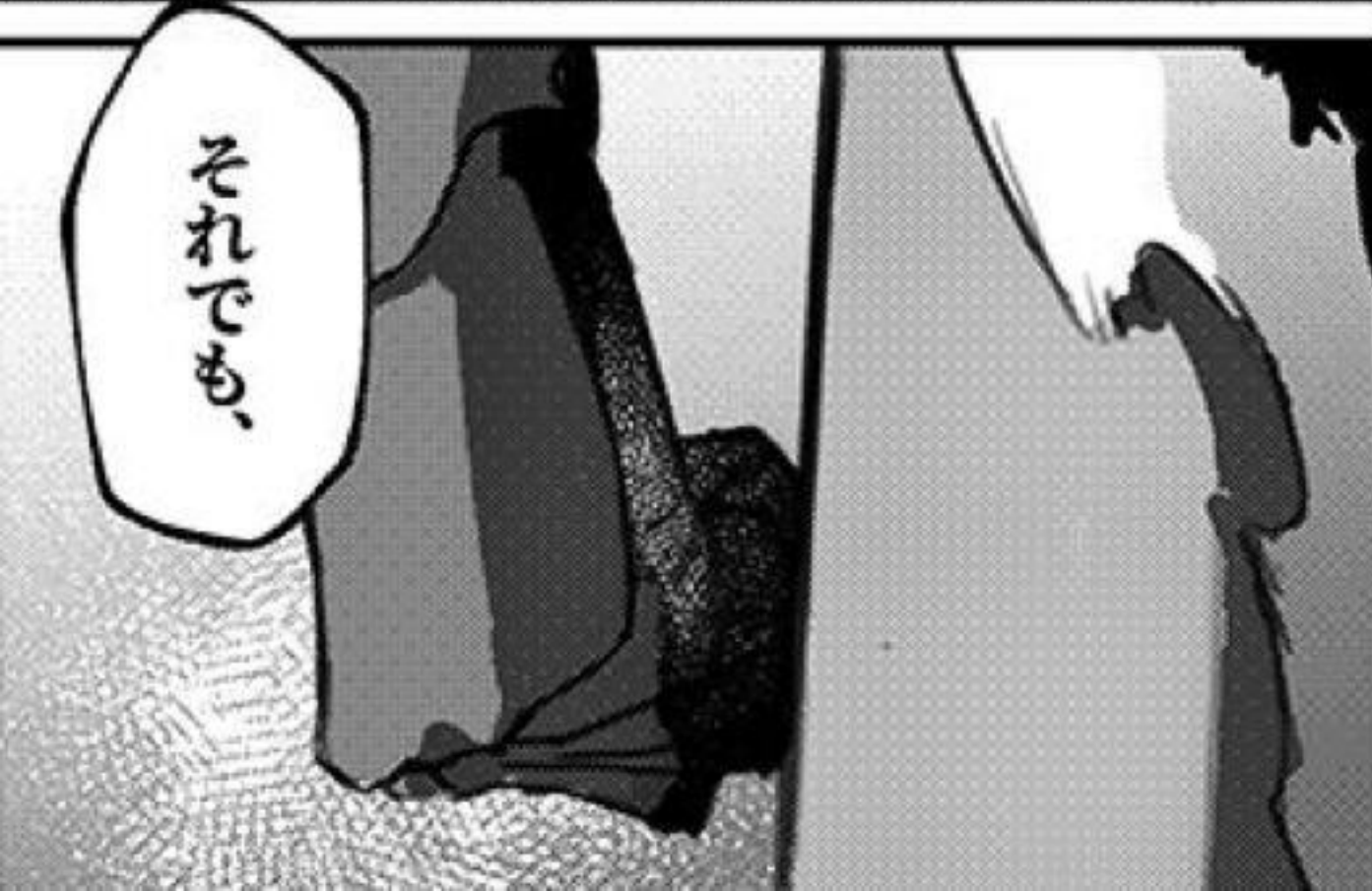
は





生きていて
くれさえすれば
それで良かったと
今でも願わずには
いられない

どれも俺が
言えたことでは
ないのは
分かっている




それでも、



なぜ

命を賭してまで
俺を守ったんだ



騎士として
どうかは
関係無い

自分の身を
顧みて欲しかった
というのは

俺の我儘
なのだろうか――





ああ



久しぶりに
意見が合ったな

デIMITORI



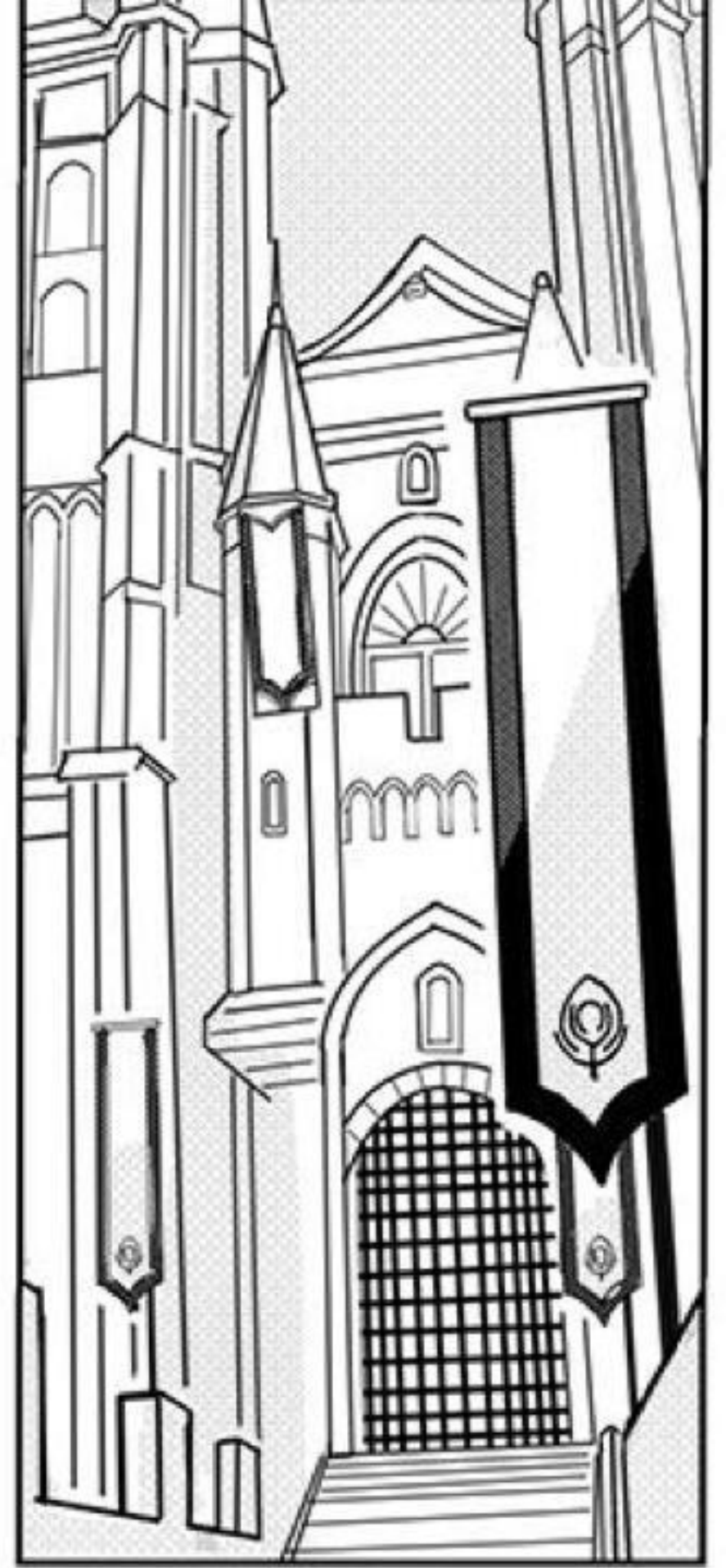


なあ

そうだろう

兄上……







ミフェリクス

随分と滑稽なものだ

女神の掟おきてに逆らったお前が今では熱心に祈りを捧げているなど



あ…はは

そう、ですよ



習慣みたいなものだからつい…



「立派な騎士に
なってみせる」

…君に言ったこと
憶えていますか

…

僕の行いは
女神様にとって
正しくなかった
かもしれない

例えそうだと
しても

でも
君を…

君を助けた理由は
騎士として
胸を張れる
ものなんかじゃ
なかった…!

僕は
自分の信念に
従って行動した

それに
後悔は
ありません



君にだけは
死んで欲しくない

咄嗟に
体が動いて
しまった



それだけの理由で

僕の
身勝手な
私情で

君を
助けました

あのとき
救うべき人は
他にもたくさん
いたのに

助ける人を
選んでしまいました――



いつか
立派な姿を
見せたくて



誓いを
立てた君に

『ファーガスの騎士は
約束を違えない』

だから

だから！

騎士を志す
資格が無いと
君に言われるのは
当然なんですー！！

立派な騎士に
なってみせるって
此処で誓ったのに

他でもない
君の目の前で
破りました



…お前の言う立派な騎士とやらは

誰も彼もに手を差し伸べる事なのか？

お前が…お前が！

この世の全てを救えるか？



うぬぼ
自惚れるのも大概にしろ！

フェリクス…？

お前は！

他人のために命を投げ出す

そんなことが立派だとも思っているのか



死んで欲しく
なかっただど!?

ふんけるな

俺を救うために
お前が死に晒す
ようでは
何の意味がある

こんなもの——!!



立ちあがるから



フェ...ウッ?



お前



!



俺は

俺の
身勝手な感情で
お前の夢を
否定した



お前が
これに殺される
ぐらいなら

騎士の道など
諦めてしまえと



こんなものの

何が面白いと
言うんだ……



…否
違う

俺自身の
弱さが未熟さが
危うくお前を殺す
ところだった

そうなれば
俺は俺を
一生かけても
赦せないでいた！

ごめんなさい
フェリクス

それでも僕は
君を見過ごす
選択肢なんて
きつとなかった

だから
お願いですから

見殺しにしろだなんて
そんな悲しいことは
二度と言わないで
ください

君は間違いだって
言ったけれど
僕は認めません

だって
そうじゃ
ないと

今君が
生きていることが
間違いだってことに
なるでしょう？



どうしたら僕を許してくれますか？

ああ



じゃあ



生きた心地にさせなかつたのは誰の所為だ！



ふ



光が

熱が



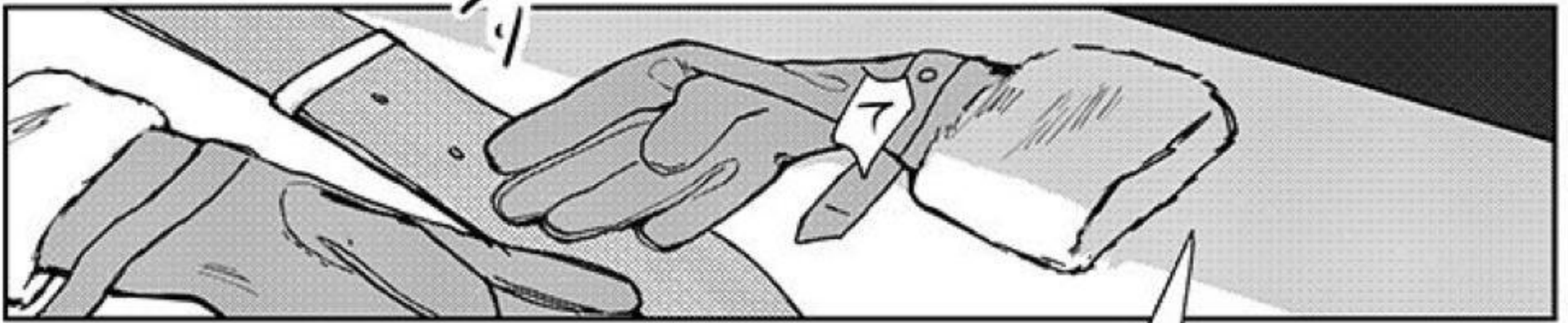
熱だ

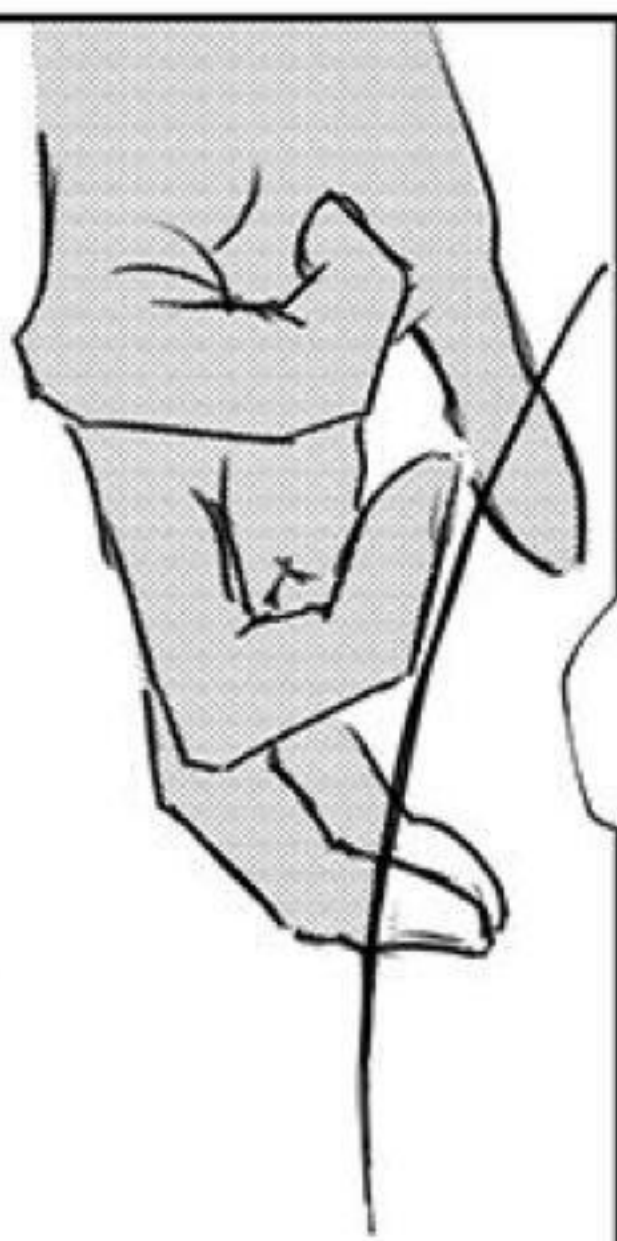


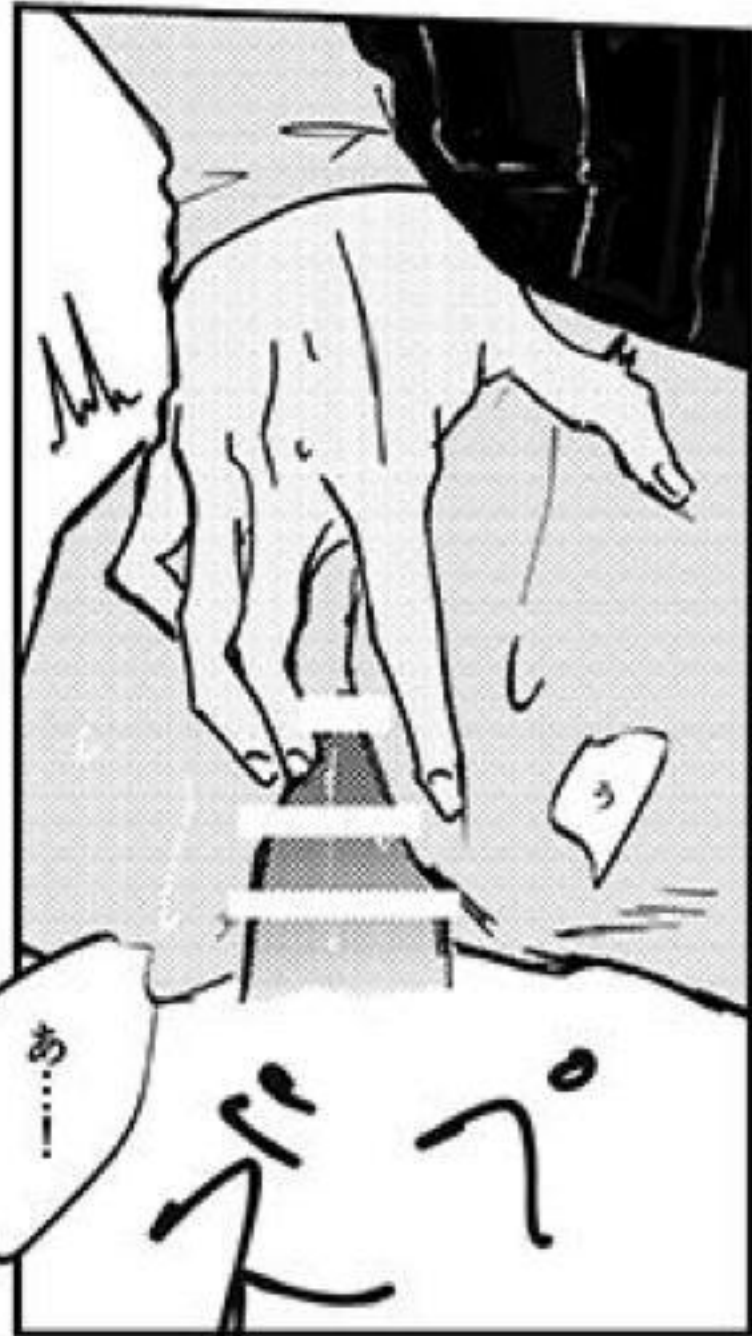
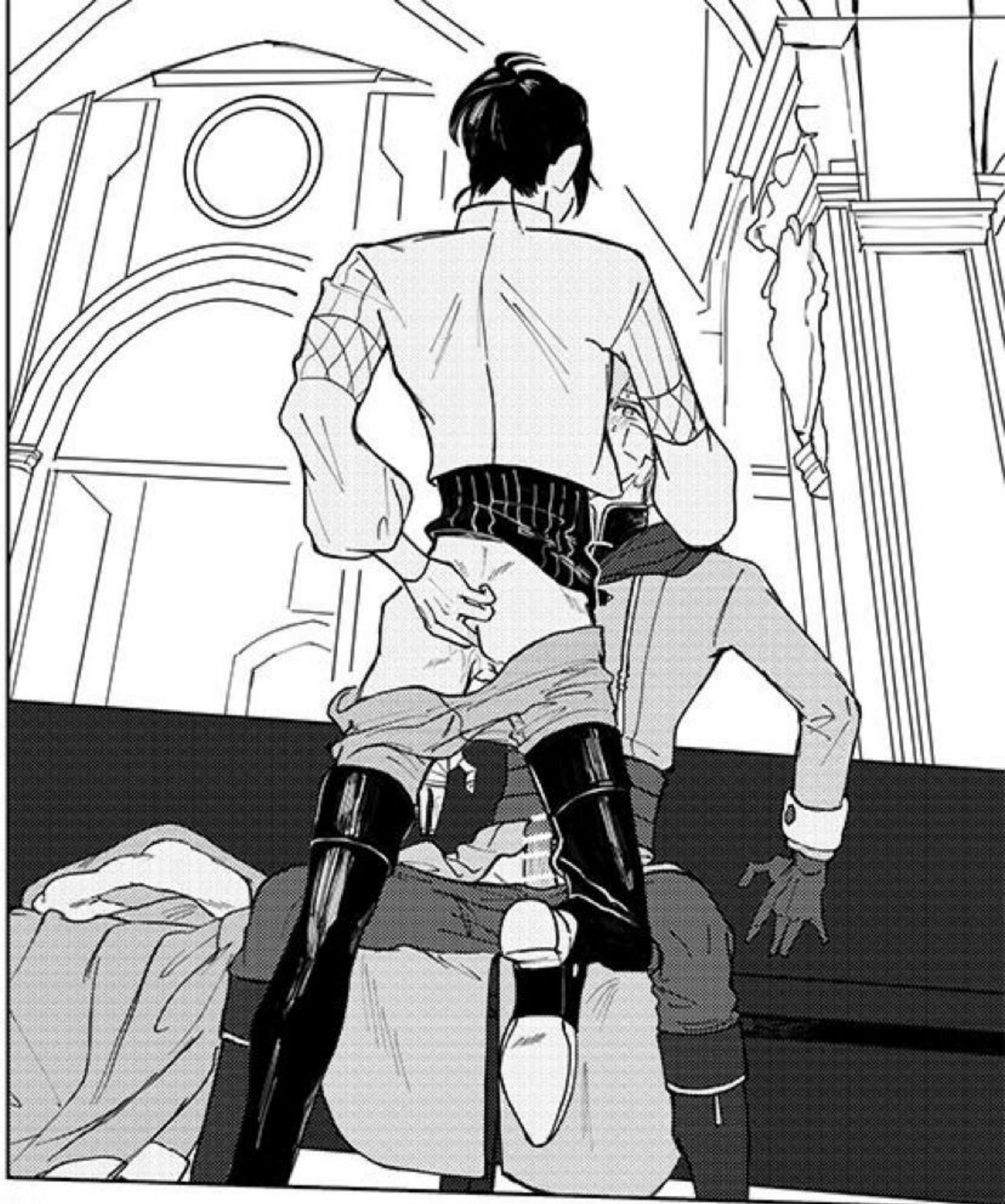


お前が
生きている
証を寄越せ













俺を！

庇^{かば}って
死んだお前に

与えられる
ものが
賞賛など
絶対に
認められるか

もう
沢山だ――



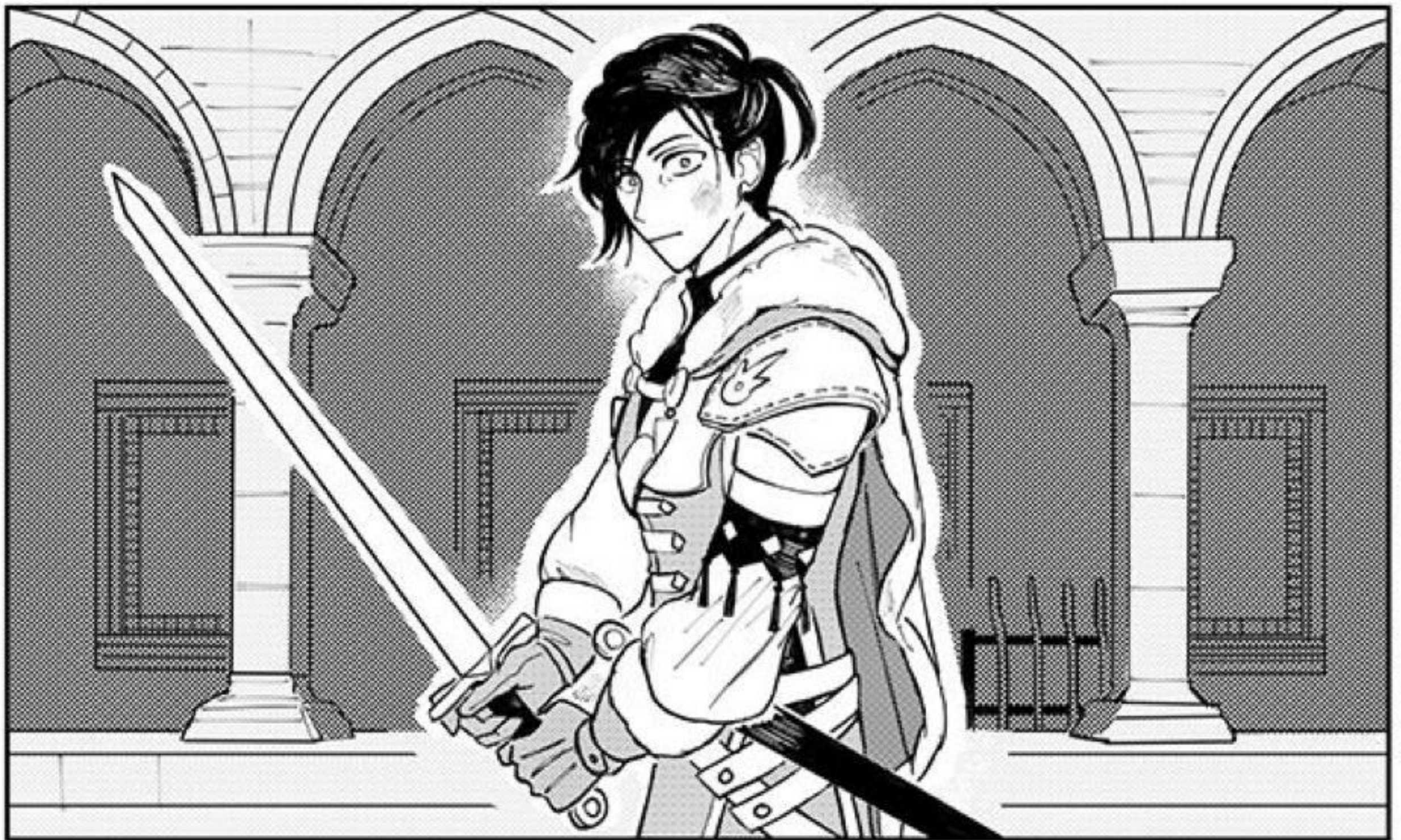
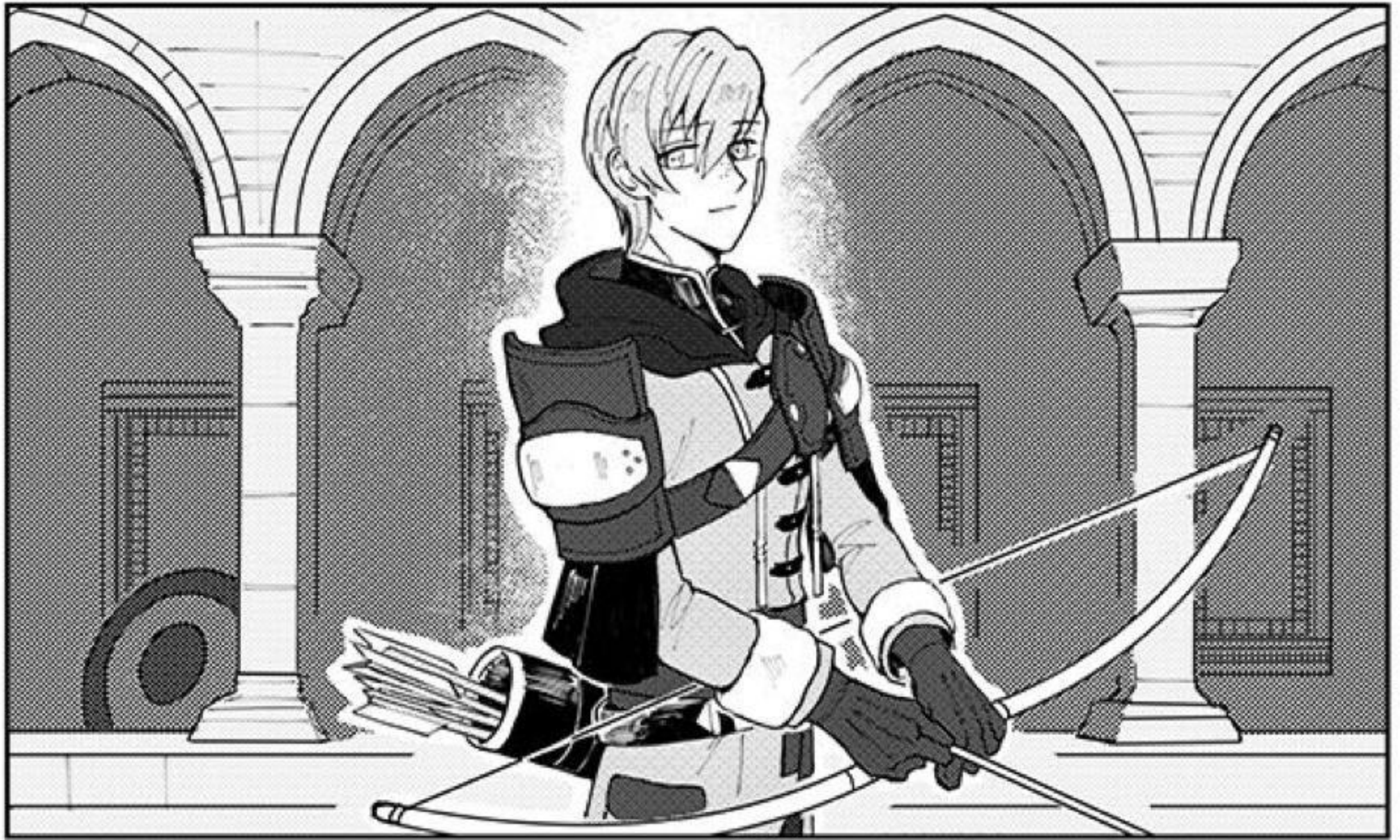
17

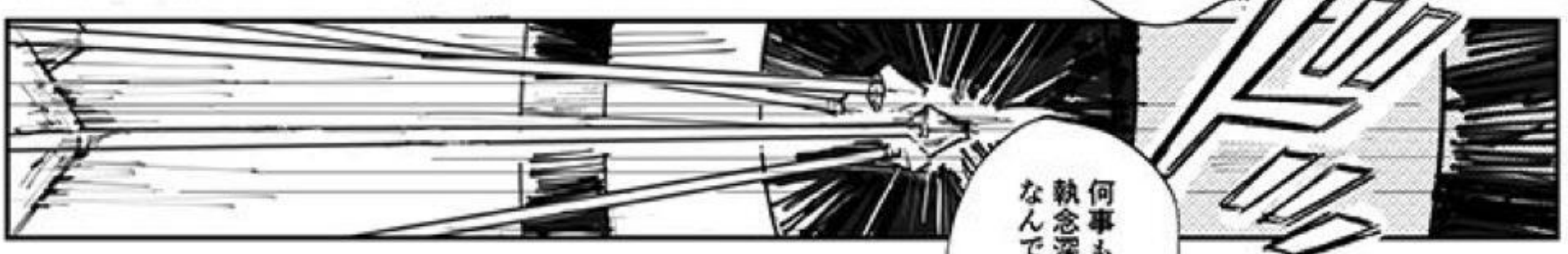




僕だって...

君はひとつ
僕を買い被って
います





何が意外だ
お前そのものの
言葉だな

泥臭くても
必死でも
無様でもいい

ええっ
ひどいなあ
君ぐらいですよ
そう言うの

…おい。
今度のソレは
一体何なんだ

これですか！
『キーフォンの剣』です！

…

くだらんか

あ！

知ってるんですね！

……まだ何も
言っていないだろう

僕、紋章が
あるとしたら
彼と同じものが
いいなあ

足掻いて、足掻いて
最後まで
生き抜いてみせる

…だから
何の話だ

立派な最期
だったと
誰にも言わせる
ものか



あとがき

理想の騎士であった兄グレンと、理想の騎士を目指すアッシュ。

フェリクスがアッシュに対して激情を見せるなら、
兄と同じ結末を彼が辿ってしまうかもしれない恐れにきつとあるんじゃないか。
そんな考えから熱のままに筆を執り、本が一冊できていました。

一本芯通った性格同士の喧嘩は、両者決して言い分を譲ることはないんだろうな〜!と。
信念と信念のぶつかり合いです。楽しかった。

でもフェリクスの懸念をよそに、予想のいつも斜め上に行くのがアッシュ=デュランという男。

騎士になったその上で絶対生き延びてやるという
両方良いとこどりを成し遂げてしまうんじゃないかなあと。

騎士である前に一人の人間として生きて欲しいフェリクス
騎士たろうとしつつ一人の人間としてしがみつこうように生きるアッシュ

アッシュの生に対する執着の深さは、フェリクスの嫌う騎士道の考え方を
ひっくり返してくれる、そういう意味ですごく相性の良い二人だと思っています。

「僕だけがなれる立派な騎士」の答えがまさにそうなのかもしれない。

アッシュフェリは紋章にしろ身分にしろ持つものと持たざる者の組み合わせであり
シビアな風花の命題をお話に絡められたところもお気に入りです。

この先、風花をプレイしあろうことかこの二人に落ちてしまった
物好きさんたちまで届けばいいな。

最後に

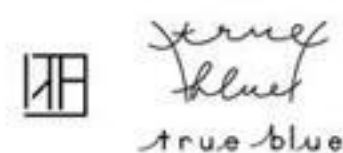
2020年の10月。このCPで活動している人間は知る限りでは自分だけ。
見てくれる人がいるかも分からない推しカブの本を出そうか迷っていたとき。
アッシュフェリが好きです、という匿名の言葉にとっても励まされたことを覚えています。

あのときの7通のマロ主さんたちへ。

長らくお待たせしてしまってすみません。

無事に本を出せたことをここに報告します。

お手に取っていただきありがとうございました!

The logo for 'True Blue' features a square icon with a stylized 'TB' on the left. To its right, the words 'true blue' are written in a cursive script, with 'true' on the top line and 'blue' on the bottom line. Below the script, the words 'true blue' are printed in a simple, lowercase sans-serif font.

余談

2020年11月 原稿着手開始

2022年6月 脱稿 (着手期間: 約1年8ヶ月)

本当によくやり切った。

めんどくさい・終わりが見えない・まんがうまく描けないの3コンボに陥りながらも
不思議と描くのをやめようという気持ちには一度もならなかったのが偉かったと
思います。無双で会話しますように。いい肉食べよ。

立派な最期と言わせるものか
I will never let you die

立派な最期と言わせるものか



2022年6月26日 初版第1刷発行

2023年1月17日 第2刷発行

著者： 囧

発行： true blue

印刷： 大阪印刷株式会社(おたクラブ)

 OTORlxxx  62256532

 tbwinds23@gmail.com

▼ 感想フォーム (マシュマロ)



感想いただけると
とても嬉しいです!

この本は個人的に作られた非公式のファンブックです。

発行者以外にこの本について問い合わせることはご遠慮ください。

無断転載・複製・複写・転売行為・Web上への掲載
(SNS・ネットオークション・フリマアプリ含む)は一切禁止しています。

Reproducing all or any part of the contents is prohibited
without the author's permission.



立派な

たっぱなす 立派な

最期と

I will never let you die.

言わせる

I'LL NEVER LET YOU DIE.
ASKE EGGWELL'S CRUEL WORDS TRADALJUS
THE ANSWER THESE MEN'S UNOFFICIAL FAN BOOK

ものか

PRESENTED BY

*True
blue*
true blue

I WILL NEVER LET YOU DIE. / RIPPANA SAIGO TO IWASERU MONOKA / I WILL NEVER LET YOU DIE.

I WILL NEVER LET YOU DIE. RIPPANA SAIGO TO IWASERU MONOKA / I WILL NEVER LET YOU DIE. RIPPANA SAIGO TO IWASERU MONOKA

I WILL NEVER LET YOU DIE. RIPPANA SAIGO TO IWASERU MONOKA / I WILL NEVER LET YOU DIE. RIPPANA SAIGO TO IWASERU MONOKA

最期と 立派な 言わせると 立派な ものか

I will never let you die.



立派な 最期と

I will never let you die.

言わせる ものか

PRESENTED BY

Yamaguchi
Blue
True Blue

FIRE EMBLEM THREE HOUSES
UNOFFICIAL FAN BOOK

ASHE DURAN • FELIX HUGO FRAIDATIUS

ADULT
ONLY

R-18

